

情報科学部の臼田毅教授が

第 34 回電気通信普及財団賞を受賞しました

情報科学部の臼田毅教授が、玉川大学量子情報科学研究所の中平健治教授と加藤研太郎教授と共に、公益財団法人電気通信普及財団の 2018 年度 第 34 回電気通信普及財団賞（テレコムシステム技術賞奨励賞）を受賞しました。

電気通信普及財団賞は、旧郵政省系の財団である公益財団法人電気通信普及財団の賞で、技術分野を対象とするテレコムシステム技術賞及びテレコムシステム技術学生賞、並びに社会科学分野を対象とするテレコム社会科学賞及びテレコム社会科学学生賞からなります。

このうちテレコムシステム技術賞は技術的、工学的観点から情報通信の普及、振興、発展に貢献する優れた研究論文・著作等を表彰し、その功績を顕彰するものです。

■ <https://www.taf.or.jp/award/telesys/2018.html>

受賞論文は、米国物理学会の *Physical Review* に掲載された以下の論文となります。論文内容は、量子情報通信システムを様々な設計・評価する際の有用なツールを提供するものですが、論文内容と共に、量子通信分野において継続的・先導的な研究活動を行ってきたこと、また、大学・企業間の連携が実を結んだ点も評価されました。

K. Nakahira, K. Kato, and T. S. Usuda,

“Generalized quantum state discrimination problems,”

Physical Review, vol.A91, no.5, 052304, (2015 年 5 月)

doi: 10.1103/PhysRevA.91.052304